

令和4年度 近畿北陸学生ヨット選手権団体戦
レース公示

[DP] の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができることを意味する（帆走指示書の13.3参照）。

- 1. 共同主催** NPO 滋賀県セーリング連盟 京都府セーリング連盟
近畿北陸学生ヨット連盟
- 2. 後援** 富山県セーリング連盟
石川県セーリング連盟
- 3. 場所** 大津市柳ヶ崎ヨットハーバー
- 4. 競技種目** 国際470級、国際スナイプ級
- 5. 大会期日** 令和4年9月22日～9月25日
- 6. 競技日程**

<u>9月22日</u>	主将艇会議	17:00 zoom (オープンチャットにて通知)
<u>9月23日</u>	開会式	<u>8:00</u> zoom (オープンチャットにて通知)
	ブリーフィング	開会式に続いて zoom で行う (オープンチャットにて通知)
	470級予告信号	<u>9:20</u>
	スナイプ級予告信号	470級スタート信号に引き続き行う。
	1日目第2レース以降	前のレースに引き続き行う。
<u>9月24日</u>	ブリーフィング	<u>8:10</u> zoom (オープンチャットにて通知)
	470級予告信号	<u>9:20</u>
	スナイプ級予告信号	470級スタート信号に引き続き行う。
	それ以降のレース	前のレースに引き続き行う。
<u>9月25日</u>	ブリーフィング	<u>8:10</u> zoom (オープンチャットにて通知)
	470級予告信号	<u>9:20</u>
	スナイプ級予告信号	470級スタート信号に引き続き行う。
	それ以降のレース	前のレースに引き続き行う。
	閉会式	zoom (オープンチャットにて通知)

令和4年度近畿北陸学生ヨット連盟

- 6.1 本大会のレース数は両クラス共に、最大10レースとする。1日のレース数は最大4レースとする。尚、本大会で計画された全レースを行うため、当日までの計画に対して1レースを超えないまで、レースを前倒しで行う場合がある。
- 6.2 9月23日及び9月24日は、470級については16:00を過ぎての、スナイプ級についてはその10分後を過ぎての、9月25日は、470級については12:00を過ぎての、スナイプ級についてはその10分後を過ぎての予告信号は発しない。
- 6.3 帆走指示書はエントリー開始段階にて、近畿北陸学生ヨット連盟公式ホームページで公開する為、主将会議での配布は行わない。

7. コミュニケーション

コミュニケーションツールとして3種のツールを用い、以下に主な用途を記載する。
・公式掲示板は、レース運営支援ツール（俗称：オルグ）を使用し、帆走指示書の変更などの大会文書のほかタイムリミット、審問予定、判決結果など審問に関わるものに使用する。

・近畿北陸団体戦予選LINEオープンチャットは、ブリーフィングや開閉会式の時刻、zoom URL案内、陸上掲揚した旗の内容、調停呼び出しなどその他会場アナウンスの用途などに使用する。

・近畿北陸学生ヨット連盟公式ホームページは、エントリーフォーマットや審問要求書、乗員表などの各種書類の入手に使用する。

オルグへの掲示とLINEオープンチャットと大会本部前に設置された補助的掲示板への掲示に関して掲示物の有無、時刻の誤差などが生じた場合、オルグへの掲示された情報を有効とする。



レース運営支援ツール（俗称：オルグ）

URL : <https://www.racingrulesofsailing.org/documents/4758/event?name=kinkihokuriku-2022>



近畿北陸学生ヨット連盟ホームページ

URL : kinhokugakuren.com



LINE オープンチャット QR コード :

8. 規則

- 8.1 本大会は「セーリング競技規則」（以下「RRS」という）に定義された規則を適用する。但し、帆走指示書は、RRSの一部を変更している。
- 8.2 [DP]本大会は、現行の「470級学連申し合わせ事項」、「スナイプ級学連申し合わせ事項」及び『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 8.3 本大会は、RRS 付則 P を適用する。但し、RRS 付則 P 中の「セール番号」は「リコールナンバー」で代える。
- 8.4 本大会は、RRS 付則 T を適用する。
- 8.5 SCIRA 規則の『国内及び国際選手権大会の運営規定』は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き、適用されない。

令和4年度近畿北陸学生ヨット連盟

8.6 規則 41 に以下を追加する。

『(e) 自チーム内での情報の交換』

8.7 規則 60.1(b)に以下を追加する。

『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または損害に基づいて、救済要求を行うことはできない』

9. 参加資格

- 9.1 競技者は、(公財)日本セーリング連盟 2022 年度メンバーであって、かつ、全日本学生ヨット連盟規約第 6 条を満たしていなければならない。
- 9.2 470 級の競技者は、公示 9.1 に加えて、日本 470 協会 2022 年度団体登録を済ませた団体に所属する者でなければならない。
- 9.3 スナイプ級の競技者は、公示 9.1 に加えて、2022 年度 SCIRA 会員登録を済ませていなければならない。
- 9.4 各大学、各クラス 1 チームのみとする。1 チームは 3 艇までとし、2 艇または 1 艇であっても 1 チームとして出場できる。また、予備艇を 1 艇登録することができる。
- 9.5 帆走指示書に従う場合、そのチームが登録した競技者間で乗員交替を行ってよい。参加しようとするチームは、公示 9.1 から 9.3 を満たす競技者を、公示 10 に従って登録しなければならない。

10. エントリー

10.1 エントリー申し込み

- ①エントリーフォーマットをホームページ「各種書類」よりダウンロード
- ②エントリーフォーマットに必要事項を記入
- ③ホームページの「エントリー・お問い合わせ」部分からファイルをアップロードし、期日（9月9日）までに申し込みを行う。

10.2 エントリー

(1) エントリー料：1 チーム 23,000 円

※エントリー料については、期日（9月9日）までに振り込みを行う。

振込先は右の通り。 近畿北陸学生ヨット連盟会計田中智也

キンキホクリクガクセイヨットレンメイカイケイタナカトモヤ

滋賀銀行 瀬田駅前支店(190) 普通 580905

振込は個人名ではなく、大学名とすること。

(2) チームに登録した者で交替を行ってよい。

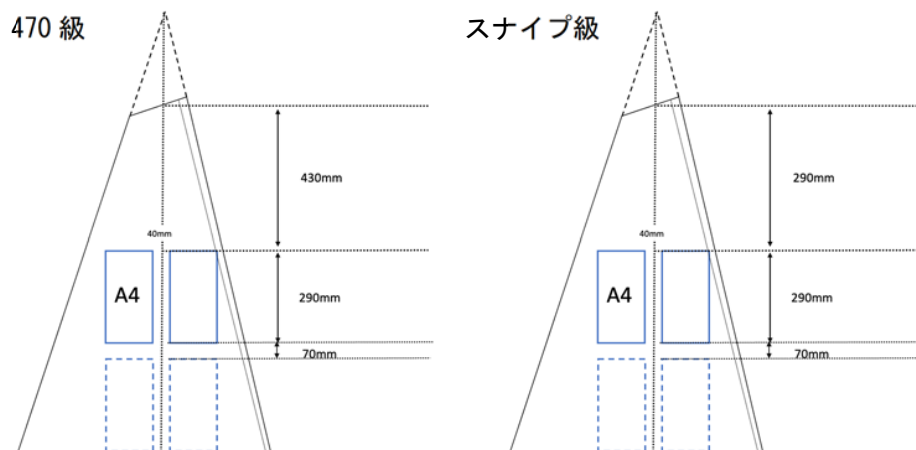
11. 艇

- 11.1 艇は、現行の「470 級学連申し合わせ事項」または「スナイプ級学連申し合わせ事項」を満たさなければならない。
- 11.2 470 級の艇は、公示 11.1 に加えて、日本 470 協会 2022 年度団体登録を済ませた大学に所属する艇でなければならない。
- 11.3 **スナイプ級の艇は、2022 年度クラス・デコールを正しく艇体に貼付してあること。**
- 11.4 原則として自校所有艇とするが、レース委員会の承諾を得た場合チャーター艇でも可

- とする。チャーター艇の場合でも公示 11.1、11.2、11.3 を満たさなければならない。
- 11.5 艇は、チャーター艇の場合を除き「艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項」に定められた表示をしなければならない。チャーター艇をエントリーする場合は、近畿北陸団体戦予選オープンチャットにて、チャーター艇である旨を申告しなければならない。

12. セール

- 12.1 **セールは、各自持参したものを使用すること。なおセールは基本計測を完了しており、2022 年度登録された艇番号のセールであること。**
- 12.2 470 級のメインセールとスピネーカーのナンバーは、一致していなければならない。
- 12.3 参加登録された艇番号にないセールナンバーを登録使用の場合は、そのセールナンバーに一致する艇を所有していることの証明（計測証明書）が必要となる。
- 12.4 同一チーム内で、同一のセールナンバーの使用は認めない。
- 12.5 **[DP]** セールには、レース委員会により指定されたリコールナンバーを、次の図に示す位置に付けなければならない。リコールナンバーの色は、470 級は赤、スナイプ級は黒とする。



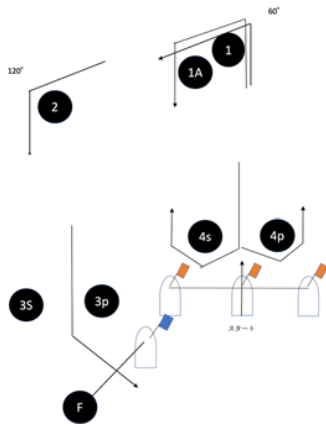
13. 艇が出会った場合

艇がタックするためのルームが必要であること、または声掛けに応じることを示す代替手段として、対象の艇を目視し、手を水面と並行に大きく振ることとする。

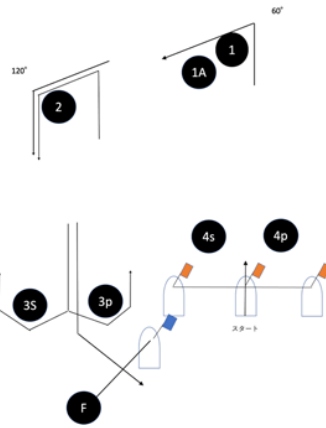
14. コース

- 14.1 以下の見取り図は、レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 14.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 14.3 予告信号以前に、レース委員会信号艇にコースを指示する文字を掲示する。
コースを示す文字と、通過するマークの順序を**次ページ**に示す。

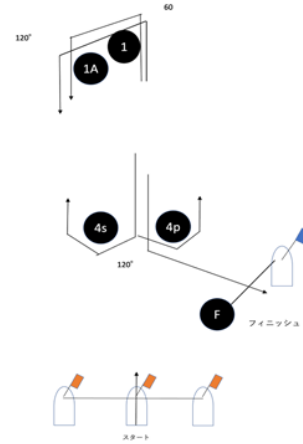
I (インナーループ)



O (アウトーループ)



L (風上-風下)



トラペゾイドコース (インナーループ)	I2	Start-1-1A-4P/S-1-2-3P-Finish
	I3	Start-1-1A-4P/S-1-1A-4P/S-1-2-3P-Finish
トラペゾイドコース (アウトーループ)	O2	Start-1-2-3P/S-2-3P-Finish
	O3	Start-1-2-3P/S-2-3P/S-2-3P-Finish
風上-風下コース	L2	Start-1-1A-4P/S-1-1A-4P-Finish
	L3	Start-1-1A-4P/S-1-1A-4P/S-1-1A-4P-Finish

15. 得点

- 15.1 クラス別のチーム順位は、実施されたすべてのレースについて、チームごとに全ての得点を加算し、総得点の低いチームを上位とする。
- 15.2 総合のチーム順位は、両クラスとも本大会に出場したチームのうち、両クラスの本大会の全ての得点を加算し、総得点の少ないチームを上位とする。
- 15.3 公示 15.1 及び 15.2 において、各クラス 3 艇に満たないチームの得点には、必要艇数分の DNC の得点を加算する。
- 15.4 クラス別及び総合のチーム総得点のタイについては、RRS A8 を、「艇」を「チーム」と読み替えた上で適用する。
- 15.5 本大会の成立には、2 レースを完了することが必要である。
- 15.6 『除外できない失格 (DNE)』を課された艇には、シリーズに参加した艇の数に 5 を加えたフィニッシュ順位の得点が記録される。これは RRS A5.2 を変更している。

16. [DP] 支援艇・応援艇

- 16.1 支援艇・応援艇は、レース委員会に指定された緑色旗を目立つように表示しなければならない。
- 16.2 支援艇・応援艇は、帆走指示書の指示に従わなければならない。レース委員会及びプロテスト委員会は、支援艇・応援艇の違反を申し立て、その支援艇・応援艇の関与するチームの艇を抗議することができる。プロテスト委員会は、審問においてその支援

令和4年度近畿北陸学生ヨット連盟

艇・応援艇の違反を認定した場合、その支援艇・応援艇の関与するチームの艇にペナルティーを課することができる。

- 16.3 支援艇・応援艇の代表者は、プロテスト委員会から要請された場合、公示16.2に基づく審問に出席しなければならない。
- 16.4 RRS37に基づき、レース委員会が音響信号一声と共にV旗を掲揚した場合、全ての運営艇、支援艇は可能な場合には、捜索と救助の指示を受けるためにレース委員会の無線の通信チャンネルを聴取しなければならない。
- 16.5 長音1声と共に掲揚されたピンク色旗が掲揚されている間、支援艇・応援艇は、危険な状態にある艇に対して、可能な限りのあらゆる救助をしなければならない。この規則に従って救助している支援艇・応援艇には、SI 22.2(b)、22.3 および 22.4 は適用されない。

17. 肖像権

シリーズ期間中の映像、写真及びシリーズの成績は主催団体のウェブサイトに掲載される場合がある。

18. 賞

賞は次のように与える。

各クラス	賞状1~3位
総合	賞状1~3位

470級は1~4位まで、スナイプ級は1~5位までのチームに全日本学生ヨット選手権大会への出場権を与える。辞退するチームがあった場合、次点を繰り上げて出場権を与えるものとする。

19. 責任の否認

本大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則4参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

20. コロナウイルス感染予防

コロナウイルス対策大会実施要項参照

以上